

利用者による効果・成果

- [障害者就労支援の課題解決の一助となるもの](#)
北九州市 保健福祉局 障害福祉部 障害福祉企画課
- [Bond社Smart Avatar® の医療現場への展開](#)
九州産業大学理工学部機械工学科 教授 榊泰輔
- [展施設紹介 とセキュリティ教育への活用](#)
九州産業大学
- [高等学校での活用](#)
福岡県立筑前高等学校
- [教員免許制度に替わる教員研修の動画作成](#)
福岡県教育センター
- [講義への活用](#)
国立大学法人 九州工業大学
- [シンポジウムでの活用](#)
特定非営利活動法人 医療ガバナンス研究所
- [医療現場での活用](#)
日本歯周病学会認定医 いがらし歯科医院グループ
- [銀行「受付発券機」案内の伝え方改革での活用](#)
株式会社 りそな銀行
- [コロナ禍の中で出来ること](#)
社会医療法人 ペガサス

- [オンライン研修での活用](#)
TOTO株式会社

- [展示会での活用](#)
シャボン玉販売株式会社

2024年2月6日

動画生成 AI スマートアバター®シリーズは、

障害者就労支援の課題解決の一助となるもの

～北九州市の状況と障害福祉企画課の所感～

北九州市 保健福祉局 障害福祉部 障害福祉企画課
障害者就労支援係長 坂本 果林

【北九州市の状況】

- ・障害者の数は、ほぼ横ばいで推移しており、市の人口の約8%を占めています。
(「12人に1人」は何かしらの障害を抱えています。令和4年度76,769人。)
- ・身体障害者の数は減少傾向にありますが、知的、精神障害者の数は、増加傾向にあります。
- ・令和6年4月以降の段階的な法定雇用率引き上げが行われます。
(現在2.3%→令和6年4月～2.5%→令和8年7月～2.7%)
令和5年の障害者の実雇用率、国が2.33%、福岡県は2.38%
令和5年の障害者法定雇用率達成企業の割合は、国が50.1%、福岡県は52.5%。
- ・障害者就労支援施設等における平均賃金は最低賃金の値上げに伴い増加傾向にあります。
平均工賃はほぼ横ばいで推移しています。(令和3年度平均賃金：全国81,645円、福岡県79,634円、北九州市83,882円)(令和3年度平均工賃：全国16,507円、福岡県14,691円、北九州市16,121円)

【所感】

・未雇用企業からは、DX推進により、単純作業の多い紙ベースの事務作業が減少するなかで、「障害のある方にどんな仕事を切り出したらよいか分からない。」という声があります。

→企業が、本ツールを導入した事務改善を図ることで、障害のある方が携わることのできる作業の拡大が期待できます。

・また、障害者就労支援等を行っている障害福祉サービス事業所の大半は、簡易な手作業などを行っているため、工賃が低い状況です。工賃向上のためには、作業内容を時代のニーズに合わせて見直していくことも必要だと思われれます。

→本ツールを用いた訓練を行うことで、障害のある方のスキルアップを図ることが期待できます。

・障害のある人の特性(特に精神障害者や発達障害のなかには、緊張を感じやすい人がいる。)に合わせた作業を提供することにより、活躍の場が広がり、工賃向上、雇用拡大が期待できます。

[Topにもどる](#)

Bond社Smart Avatar® の医療現場への展開
九州産業大学理工学部機械工学科 教授 榊泰輔

○背景・経緯

当研究室ではSDGs（国連の持続可能な開発目標）の目標3「すべての人に健康と福祉を」に貢献すべく研究を進めている。具体的には、厚労省が進めている地域包括ケアシステムをロボット工学で支援する技術を研究する。例えば、転倒予測、高齢者見守り、介護者アシストスーツ、脳卒中用歩行訓練ロボット、全身性麻痺者用移動支援ロボットについて進めている。将来は高齢化が進むアジア市場を見据え、国内外の企業へ技術移転をめざしている。

一昨年度よりSmart Avatar®を用い高齢者見守りを支援するシステムを開発している。事例として食後の歯磨きや熱中症予防をターゲットに、高齢者の行動変容を促すシステムを試作した。開発の過程で臨床心理の専門家に高齢者の特性についてアドバイスを得ながら進めた。こうした経験から今後の展開について色々考えるところがあった。

○現場の課題とSmart Avatar®の本質

医療だけではないだろうが、現場には、言いにくい、読みにくい、わかりにくい書類やマニュアルがあるものだ。また何度も同じような内容を繰り返し説明する業務も多い。例えば手術前の説明や入院前の説明などだ。もちろん時間をかけてきちんと説明し相手に納得してもらうことが重要である。説明を聞く方は初めてかもしれないし、一度聞いただけでは理解しにくいこともあるだろう。一方、説明する方にとってはルーチン的な内容であり、手間をかける重要性は理解していても、本音は誰かに代わってほしいのではないか。

ここにSmart Avatar®を介して伝えることのニーズがある。固い文章でも身振り手振りで興味を引きながら、何度でも繰り返し伝えることができる。例えば高齢者にはゆっくりと歯切れよく音声の高さも低めにするよう調整できる。人だと疲れる業務を代替し、倦まず弛まず伝えるのがSmart Avatar®の本質である。

○Smart Avatar®の進化の方向

見聞きしている人にスムーズに理解してもらい、さらに興味を引いて積極的な行動に結びつけるには以下の検討が必要だろう。

・外部情報の取得

相手や相手の置かれている環境を観測しSmart Avatar®の行動に反映させる。例えば、各種センサと連携し、相手の年齢、性別、表情、声の調子、温度湿度、明るさに関して観測値を取得する。観測値に応じて声の高さ、速度、強さ、身振り手振りの行動パターンを変えることである。相手や環境の変化に応じリアルタイムに調整することで最適な情報提供ができる。

- ・人を惹きつける技術

臨床心理学を応用し相手を引き付ける技術を実装する。似た事例としてはスマホがある。まわりで見られるようにひと時なりとも離すことなく画面を見続ける理由は、心理学を応用した技術が実装されているからだ。ここに学びSmart Avatar®の動作に反映させる。

- ・個人向けトレーナーへ

Smart Avatar®は冒頭にあげたようなネガティブな内容を緩和するだけではない、ポジティブな意義ももつようになる。将来は個人向けに配置され、常にそばに寄り添ってアドバイス等をあたえる存在になると予測する。

例えば業務の基本であるPDCAサイクルにSmart Avatar®を活かすことを考える。Smart Avatar®を用いれば、手間のかかる手順を確実にこなし形骸化しがちな業務を実のあるものに行える。PDCAサイクルによるカイゼンは、単独ですると面倒な余り手順を省くリスクがある。一方、他のメンバーから問われると反発する感情が生まれるかもしれない。このような気乗りしないが重要な業務を前向きにこなすのに活用できる。Smart Avatar®と一対一でやり取りする、あるいはSmart Avatar®を介して他のメンバーと質疑や議論をすることで、自ら反省と成長の機会を持つ事をたすける。

○医療現場への応用

今医療現場の最大の課題は、働き方改革への対応である。特に若手の意識が変わり、昔風のスパルタ式教育が通用しなくなったことに加え、業務時間の制約がかかることになった。一方、若手が学習すべきことは山積みで、このままでは技術や考え方を伝承することは難しくなり、現場の対応力は総じて低下するリスクがある。

この問題は本質的には若手に自ら学ばせるしかない、無理矢理は難しい。そこでSmart Avatar®の出番である。手間がかかる嫌だなど感じさせるようなことでも前向きに捉えるようアドバイスする、若手スタッフの心理を踏まえた開発が期待される。

ただし対象の情報をとる計測技術や心理学の応用など課題があり、一直線に開発はできないだろう。まずは簡単なシステムをつくり持続的に発展させる仕組み、いわゆるプラットフォームをつくる。現場に実装し、データをもとに逐次改善サイクルをまわしていく。この積み重ねが人の心理に配慮した新しい機械の在り方になっていくだろう。■

[Topにもどる](#)

2023年9月22日

スマートアバター使用報告書

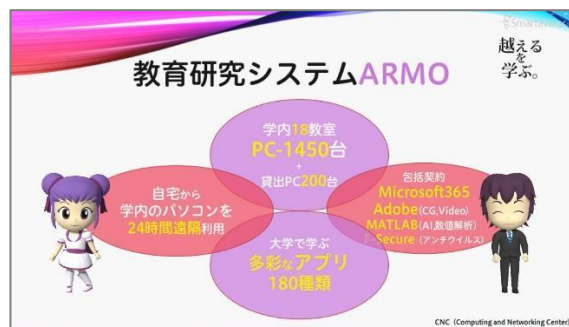
ー施設紹介とセキュリティ教育への活用ー

九州産業大学
総合情報基盤センター
事務部長 石岡 正次

【令和5年度の活用内容】

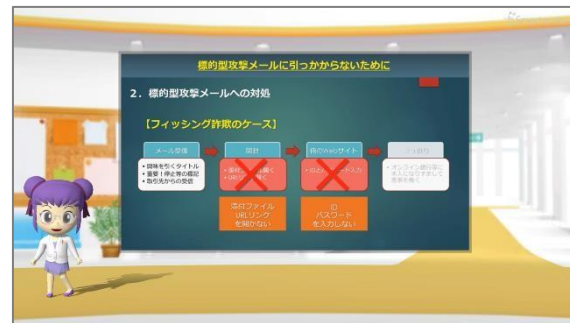
(1)施設紹介動画

総合情報基盤センターの施設案内をスマートアバターが紹介する動画を作成し、オープンキャンパスの施設見学时に上映して、来場者に当センターの概要の理解に役立った。



(2)セキュリティ教材

セキュリティの教材として、攻撃型迷惑メールからフィッシング詐欺やウイルス感染などの手口やその影響について、スマートアバターが解説を行い、留意すべきことを学ぶ動画を作成した。今後、教職員向けLMS (Learning Management System) に登録し、学生、教職員のスキルアップとセキュリティ意識の向上に活用する。



【今後の展開】

施設紹介に留まらず、利用者からの質問が多い ICT 関連機器やアプリのマニュアルを動画化して、いつでもどこでも何度でも視聴して理解が深められるように整備を進めていきたい。

以上

[Topにもどる](#)

2023年5月5日

スマートアバターの使用報告書

高等学校での活用

報告者 福岡県立筑前高等学校

キャリア形成部長 主幹教諭 町居和美

【昨年度の活用状況】

① 授業用動画の作成

② 生徒会活動での活用

自画撮り被害啓発動画の作成（福岡県警の依頼により作成。生徒が自分たちで操作を覚え、動画作成を楽しく行えることがわかった。）

③ その他 職員研修用動画の作成

【今年度の展望】

① 授業用動画の作成

授業のまとめ動画等を作成することにより、個別の学習支援に活用。

② 生徒会活動での活用

新入生オリエンテーション、学校行事での活用（電子黒板やタブレットを使った動画配信）

③ 総合的な探究の時間等での活用

生徒発表での活用（必要数の貸与など、手厚い支援をいただいている。）

④ 職員研修や各種ガイダンス等での活用

[Topにもどる](#)

2023年3月31日

スマートアバターの使用報告書
— 教員免許制度に替わる教員研修の動画作成 —

報告者 福岡県教育センター
産業・情報教育部
主任指導主事 児島永一

【施設等の概要】

福岡県教育センターは、県内の小・中・高等学校や特別支援学校に対する学校教育、学校経営の支援を担う福岡県教育委員会の出先機関であり、次のような教員研修を実施しています。

※日数、講座数は2022年度の実績

基本研修	若年教員研修、中堅教諭等資質向上研修、エキスパート研修、校長・新任校長研修、副校長・教頭研修、新任主任・主事研修 等 のべ67日間
キャリアアップ講座	学習指導、学校経営・学級経営、人権教育、児童生徒理解、産業教育、情報活用能力育成、特別支援教育に関する講座 等 計85講座
ミドルリーダー養成講座	教科教育、学校経営参画、生徒指導・教育相談、産業教育推進、特別支援教育 計のべ29日間
福岡教師塾	福岡県の教育をリードする人材の育成 年間8日間
長期派遣研修	地域の中核となる人材の育成 1年間

2022年7月をもって、教員免許制度がなくなりました。これに替わるものとして、教育センターのこれらの研修の重要性が高まっています。その中でも、学校の授業や会議時間をさけ、教員各自が時間を選んで視聴できる動画配信が必要となってきます。しかし、本来の講座と別の動画を限られた職員で作成することは、大きな負担となっていました。

【使用形態】

そこで、スマートアバターを使用し、これらの動画を作成していきます。現在は、それに先立ち、一部の講座について動画を作成、当教育センター・ウェブページで公開しています。



公開済みの動画

【成果】

2023年度は、のべ100本以上の動画を作成する予定です。その作成作業そのものはもちろん、AIによって、学校の教員が視聴しやすいセリフのタイミングや画面表示の調整が簡単な操作で行うことができます。教員の世代交代が急速に進んでいる今日、スマートアバターを使用した動画が教員の育成に大きく役立つものと期待しています。

[Topにもどる](#)

スマートアバターの使用報告書 —講義への活用—

報告者 国立大学法人
九州工業大学 教授
芹川聖一

【使用形態】

- 講義時間内に講義用動画として使用
3科目(工学倫理、電気回路Ⅰ、電子回路Ⅱ)で使用
- 講義時間外の予習復習および試験勉強のための動画として使用



パワーポイントを用いて講義している科目が3科目(工学倫理、電気回路Ⅰ、電子回路Ⅱ)ある。そのパワーポイントの資料を、スマートアバターを用いて動画に変換し、eラーニングプラットフォーム上にアップロードしている。講義に登録している学生のみであるが、学生はいつでもどこでもこの講義内容を視聴することが可能である。

通常の講義では、パワーポイントを用いて学生の理解度を確認しながら口頭で説明しているが、急な出張やどうしても外せない会議が発生した場合は、この動画を学生が視聴し、その後eラーニング上の演習問題を解かせている。一回の動画視聴で理解できなかった学生は、動画を繰り返し見た演習問題を解いている。

また、学生は授業の時だけでなく、予習、復習、および試験勉強の資料としてこの動画を使用している。

なお、口頭で講義した授業の場合でも、eラーニングプラットフォーム上に動画をアップロードしており、学生はいつでも見ることができるようにしている。

【成果】

- 効果的な予習復習、試験勉強
- 繰り返しによる確実な理解
- 講義時間に比べ短い動画時間
- 自分のペースに合わせた理解進捗

講義の内容を正しく理解するには、事前事後学習が非常に重要でなる。スマートアバターを用いた動画を再生すると、効果的な予習復習及び試験勉強が可能になる。なぜなら、講義全体が動画として保存されているため、自分が分からない点を集中的に繰り返すことができる。授業内容をノートに取って勉強する場合には、ノートに取っている部分以外の箇所で見ることができない点が出たとしても、その箇所を理解するのは容易ではない。これに対し講義全体を動画として取っているため、たとえ授業中に聞き逃した部分があったとしてもそれは動画の中には含まれており、必要な部分に戻って繰り返し視聴することが可能であり、理解が促進される。

通常、パワーポイントを用いて学生に講義する場合、学生の理解を確認しながら授業を進めるため、全体的に授業のペースが遅くなる。これに対し、作成した動画は、冗長の部分がカットされるため、動画の再生時間は講義時間に比べて短い。このため、1回の動画再生だけで理解できる学生は短時間で次の動画へ進むこともできるし、理解できなかった学生は繰り返し動画を再生することによって理解を得ることができる。つまり、個々の学生が自分のペースに合わせて講義の内容を理解することができる。

【効果】

- 学生の理解の促進（短時間、繰り返し、飽きない工夫）
- 教員側は作成および変更が容易
- 授業調整が容易

学生の理解を促進させることができる。一つは動画の再生時間が講義時間に比べて短いため、学生が時間を気にせず動画を見ることができる。また、動画を複数のパートに分けて少しずつ見することもできるし、疑問点は繰り返し見することも可能である。このため一回の口頭による講義よりも理解が深まるというのも利点の一つである。もう一つの効果は飽きにくいことである。スマートアバターの特徴であるアニメのような馴染みやすいキャラクターが音声で解説し、画面全体の動きも単調でなく撮影のカメラワークにも似た作りとなっており、視点が移動したりパワーポイントのスクリーンサイズが変化し、学生が飽きることなく見ることができる。PowerPointのソフトウェアそのものに動画を作る機能もあるが、この機能を利用して動画を作成した場合、画面に動きがなく単調である。

これに比べスマートアバターで作成した動画の方がより魅力的な作りとなっている。

2つ目の効果は、動画の製作者側である教員の立場からすると、非常に制作が楽で、思い立ったらすぐ作れることである。PowerPointのみで動画を作成する場合、マイクを使ってスライドに音声を入れながら、タイミングを見計らいながらページめくりする必要がある。これは、非常に面倒な作業である。例えば、マイクを使って音声でスライドを解説している際に、言葉が詰まったり言い間違えたりすることが多々ある。その度に録音し直す必要があり、結果的に大きな時間を要する。そのためPowerPointのみで動画を作成しようとすると、どうして

もある程度余裕を持った時間を確保する必要があり、簡単にすぐ制作できるというわけではなく精神的余裕が必要となる。それに比べると、スマートアバターは PowerPoint にテキストベースで解説を入力するだけでよく、必要に応じて文言を修正することも簡単であり、短期間で作製することができる。これは教員側からすれば非常に大きなメリットである。

3つ目の効果として、授業の日程調整が従来に比べはるかに楽になるという点である。作成した動画はいつでもどこでも見ることができるため、急な予定変更や出張が入った場合でも授業を休講にせずに進めることができる。これも教員側からすれば大きなメリットである。学生の教育の質を保証するためには、休講した場合には必ず別の日に補講をする必要がある。そのための日程調整は、教員にとっても学生にとっても容易ではない。場合によっては相当数の学生が参加できない場合もある。それに比べると今回の場合はいつでもどこでも受講することができるため、特別に補講の日を設ける必要がなく教員と学生の両方にとってメリットがある。

以上まとめると、スマートアバターは大学の講義において非常に有用なツールであり、学生の理解力を増すことにつながる。教員側からすると教育の質保証にもなる。授業調整が容易になるという点では学生にとっても教員にとってもメリットがあり、有用な教育支援ツールの一つと考えることができる。

[Top にもどる](#)

2020年7月29日

スマートアバターの使用報告書 —シンポジウムでの活用—

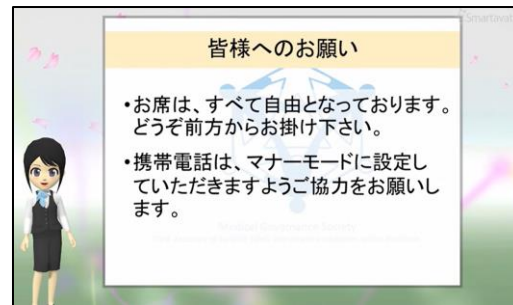
報告者 特定非営利活動法人

医療ガバナンス研究所

庶務係 瀧田盛仁

【使用形態】

- シンポジウム開演、休憩、終了後に、シンポジウム参加者への連絡用にスマートアバターを使用。
- スマートアバターがシンポジウムのプログラムや会場の注意事項を動画で説明。



我々は毎年、「現場からの医療改革推進協議会シンポジウム」(<http://expres.umin.jp/genba/>)を開催している。これは、医療「現場」で生じている課題に対し、「現場」の医療者及び医療に関係する多彩な有識者が議論する稀有な機会であり、2006年11月に第1回を東京大学医科学研究所で開催して以来、2019年度は第14回目の開催となった。シンポジウム開演前、休憩時間、終了時、懇親会前後にスマートアバターを利用した案内(日本語・英語)を放映している。

【効果】

本シンポジウムには幅広い分野の有識者や現場で活躍する医療従事者ら40人以上が登壇し、参加者も200人を上回った。このような規模のシンポジウムを限られたスタッフで運営しなければならないため、スマートアバター導入前は、参加者への案内が十分行き届いていなかった。特に、シンポジウム開演前は受付や演者の誘導にほとんどのスタッフを充てる必要があり、受付後の参加者への連絡事項やサブセッションや懇親会に関する情報共有は十分でなかった。

また、海外からの参加者にも対応する必要性が生じた。

このような課題を解決するため、スマートアバターを利用して情報共有する動画を作成した。動画は5パターン準備し放映した。このようなきめ細かいスマートアバター動画の活用により、円滑に参加者へ情報共有することが可能となり、この結果、参加者からの問い合わせの減少、サブセッションや懇親会への参加者の増加に繋がった。さらに、スマートアバターが英語発話機能も有していることは海外からの参加者への連絡に有用であった。今後も継続してスマートアバター動画を活用することを検討している。

[Topにもどる](#)

2019年11月13日

スマートアバターの使用報告書
-医療現場での活用-

日本歯周病学会認定医
いがらし歯科医院グループ
五十嵐 尚美

【使用製品】 番組作成ツール PCアプリ版

- 医療現場で理解を深める_短時間で番組作成、伝えたいことを要約して話せる！
- 医師自ら簡単迅速に作成
- 繰り返し何度でも修正可能

(1) 診療で

一日の診療において何度も同じことを多数の人に重複して話さなければならないことは医療人にとって大きなストレスである。

このような重複する情報は事前にスマートアバターに任せることで伝え忘れや部分的な言い忘れなどの問題を解決し、重要な情報をまずはスマートアバターで流し、その後復唱する形で患者に理解を求めると、患者は複数回情報の説明を聞くことで、理解を深め質問のしやすい環境を作る事が出来る。

(2) 講演で

講演を行う際に臨床のスライドを流す機会が多い医療現場において、スマートアバターでの説明は要約しやすく、演者のみが話すよりメリハリが出来て聞きやすい?講演が飽きない。演者にとっても時短と重要な事項の伝え忘れや言い間違いなどを避けることが出来る。

(3) 医療現場で

医療現場での臨床やスタッフ教育、講演と様々な場面でスマートアバターを活用することで、短時間で正確な情報を相手に深く理解し伝えることが可能となるツールである。

[Topにもどる](#)

2020年8月31日

スマートアバターご利用について取材報告書 -銀行「受付発券機」案内の 伝え方改革での活用-

株式会社りそな銀行

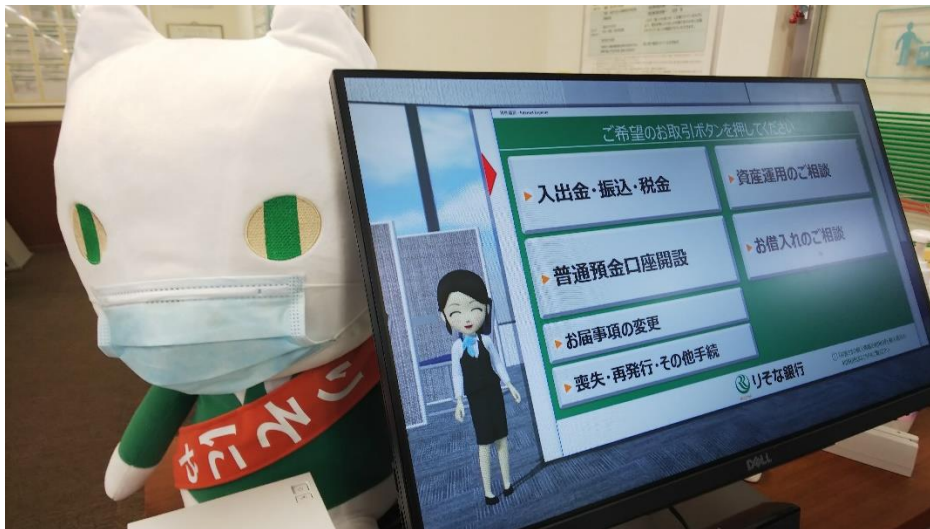
取材：有限会社BOND

馬立 美樹

【使用製品】 番組作成ツール PCアプリ版

◆設置場所

りそな銀行北九州支店 入口カウンター（消毒スプレー設置の隣）



◆活用法

従来、行員が説明していた受付発券機の使い方をスマートアバターが、フルタイムで代行

◆効果・成果

注目度向上・利用頻度（ログ数）向上・利用者の快適な誘導・ウィルス感染リスク低減
・行員の入り口業務の緩和

◆先端小売研究会 評価

旅行会社や携帯電話の受付でも、案内担当が立っていて、用件を聞かれる場面があります。同じように、タッチパネルがありますが、手厚く、その案内担当がパネルタッチまでしてくれます。

コロナ禍では、こういう業務こそ、アバターがやるべきだと思いました。

[Top にもどる](#)

令和2年9月9日

スマートアバター使用報告
～コロナ禍の中で出来ること～

報告者：社会医療法人ペガサス
法人本部 稲垣 尚輝

【経緯】

新型コロナウイルス感染拡大の状況の中での困りごと・・・

- ・施設を案内したいが入館禁止中で施設の中を見学してもらえない
- ・研修をしたいが、集合形式での研修が出来ない
- ・求人をしたいが、外部の説明会が次々と中止になり
アピールの場がなく困っている等

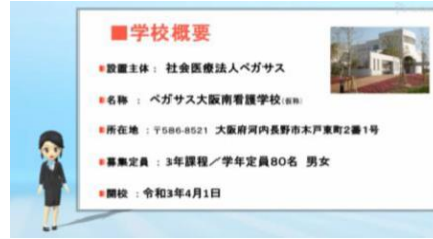
中止・自粛だけではなく、今だからできること。今まで以上にできることを。

【用途】

- ・各施設の紹介動画（見学ができなくとも施設の設備・様子が分かる）
- ・研修の動画（各自が好きな場所・好きな時間で研修動画を視聴）
- ・職種別の求人動画（HP上に掲載し、いつでも誰でも閲覧可能）

【作成実績】

ロイヤルリゾート	大阪南看護学校（施設紹介・学生募集）	ロイヤル
リゾート石津	エクウスプリオル	
通所リハビリ	レスパイトケアセンター	
通所リハビリ和泉	こどもデイセンター	
デイサービス神石	（求人）ペガサス保育園	
デイサービス石津	（求人）ヘルパーセンター	
デイサービス石津2号館	（求人）薬剤部	
デイサービス石津北	（研修）リハビリテーション概要	
デイサービス雅老園	（研修）法人全体研修	
	（研修）ランチョンセミナー	他



【使用効果】

- ・施設に来なくても施設の詳細がわかる（自宅や入院中の方でも視聴可）
- ・写真を多く使った動画なので、施設の設備や様子がわかりやすい
- ・職員も動画を視聴し施設の勉強ができる（利用者の希望に沿った提案が可能）
- ・動画研修なので、好きな時間に繰り返し視聴可能
- ・職種別でそれぞれの部署が作成するので、集合形式の説明会以上に詳しく的確な求人・アピールが可能

等々、スマートアバターでの番組制作が従来のやり方以上の効果もあった

【課題】

- ・病院、クリニックの待合等の音声を出せない場合や耳が不自由な方への使用も想定に入れ、比較的わかりやすく作ってはいるが、字幕をスクロールさせる等 より良く改善できれば更に使用の幅が広げる事が可能



[Top にもどる](#)

2021年5月10日

スマートアバター使用報告

— オンライン研修での活用 —

報告者 TOTO株式会社
人財開発部 人財育成G
谷口 敏郎

【概要】

新型コロナウイルス感染対策による業務や環境の変化に伴い、人財育成研修においてもオンラインによる研修の企画推進を余儀なくされた。

従来の「対面研修」と同じクオリティで「オンライン研修」を実施することを狙いとして、本製品を導入した結果、QCDそれぞれの効果が見られたので一部ここに紹介する。

【背景・目的】

オンライン研修には様々な制約条件があるが、その一つに“集中力維持“を考慮した研修時間や、休憩回数が必要であるため、『集合と同じ講義時間を確保することができない』という問題があった。そこで、従来の集合研修と同等の品質を担保したく、且つオンライン研修を効果的に運営していくために本製品を活用。

【効果】

研修受講者の動画による事前学習により、以下の効果、成果が見られた。

■ 研修品質担保 (Q)

受講者からは「学びやすさや理解度向上につながった」との声が上がり、研修ではグループ討議やワークの時間が確保でき、オンライン研修を円滑に進めることができた。

■ 研修の自己学習化 (C、D)

自己学習内容に関する研修での講師や説明時間が不要 (C) となり、受講者は自分のペースでいつでも学習 (D) ができ、また受講後にも復習することが可能。

■ その他

聴覚障がい者に対して、動画を字幕化することにより、他の受講者と同じ対応で運用できた。

【受講者の声】

- ・ 事前課題のアバターを使った教材がとてもわかりやすく、今回の研修の主旨を事前に理解することにつながった。
- ・ 事前学習は、テキストだけを自分で読むより映像・言葉として耳に入ってくることでより理解が深まりました。
- ・ 事前学習の動画、非常にわかりやすかった。外部委託制作と思っていたので、社内講師が作成された動画だと聞き驚きました。



【今後の期待】

本製品は、様々な機能や演出が可能であることが特徴ではあるが、そのためにデータが重くなり、動画作成、配信に関して様々な作業負荷や制約条件が発生した。今後、軽いフットワークで活用していくためにも、軽くてシンプルな動画ソフトの開発提供を期待する。

[Topにもどる](#)

展示会での活用

シャボン玉販売株式会社
第一営業部
山下 大樹

【使用形態】

- ・販売店様向けのWEB展示会にて使用。
- ・弊社の歴史や商品の特長を説明。



これまではドームにて来場型の展示会であったがコロナ感染拡大のため初めてWEBでのオンライン展示会を行うことになった。

WEB展示会では動画や静止画にて商品特長資料を展開する。

こちらの動画作成に活用した。

【効果】

- ・真新しい新鮮な動画を紹介し目を惹くことができた。
- ・参加者へ円滑な情報提供ができた。
- ・AIアバターに興味を持つ方が多く話題になった。

機能面においても操作がしやすく修正や差し替えも行いやすかったです。

音声にも細かく抑揚がつけられるので自由度の高さと操作性の良さの二つを両立していると感じました。動画作成中もわからないことは質問したらすぐ回答をいただいたので大変助かりました。

以上

[Topにもどる](#)